




論文審査結果の要旨

報告番号	甲 薬 第 222 号	氏 名	関 田 泰 子
審査委員	主 査	川 添 和 義	
	副 査	柏 田 良 樹	
	副 査	水 口 博 之	

学位論文題目

新規機能性素材開発を指向した民族薬理学的調査にもとづく生薬の応用研究 ～ドクダミ科植物 *Houttuynia cordata* Thunb.について～

審査結果の要旨

近年、生薬を原料とするサプリメントのヘルスケアへの応用が注目され、その利用が増加している。古来より、健康維持に利用されてきた民間薬などは、地域により独特な使用法が伝承されてきたものであるが、近年のグローバル化によりその伝承が途絶え、消失の危機にある。この民間薬について民族薬理学的調査を行い記録に残すとともに、その効果について科学的エビデンスを得ることは重要である。この観点から、本研究では日本三大民間薬のひとつであるドクダミに注目し、民族薬理学的調査を行うとともに、その適用についての活性評価を行った。さらに、ドクダミの機能性素材としての新たな応用の可能性についても検討を行い、以下の事項を明らかにした。

- 1) 高知県高岡郡津野町において、ドクダミの使用法とその効果等について調査を行い、本地域でドクダミを蒸し焼きにした「ドクダミ湿布 (HCP)」が外用薬として腫物等に繁用され、効果が高いという回答が多いことが明らかになった。また、寒天培地を使用した抗菌試験で、HCPが *Staphylococcus aureus* に対して抗菌作用を示すことを明らかにした。
- 2) HCPのEtOH抽出液が *S. aureus* (MRSA及びMSSA) に対する抗菌効果及びMRSA-31に対する抗バイオフィーム効果を示すことに加え、LTAで刺激した上皮細胞RT-7からのIL-8とCCL20産生量を抑制することから、抗炎症作用を有することを明らかにした。
- 3) HCPのEtOH抽出物の水溶液、及びドクダミ煎液が抗菌効果、抗バイオフィーム効果並びに抗炎症効果を有することを見出すとともに、HCPのEtOH抽出物の水溶液が口腔微生物に対して抗菌活性を明らかにし、これらがオーラルケアに応用出来る可能性を示した。

本研究では日本三大民間薬の一つであるドクダミの民族薬理学的調査から得られた利用法に関して、その科学的エビデンスを得るとともに、それがオーラルケアへ応用できる可能性をもつ機能性素材であることを示唆する結果を得ている。本研究で得られた知見は当該分野に対する貢献度、意義、研究のレベル等の点において学位論文に値すると認められる。